新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	人工股関節全置換術後に X 線骨盤前後像を用いた三次元計測を比較したカップ前方開角の精度評価
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
【対象】 2015年1月から2020年12月の間に行われた、当グループで施行された人工股関節全置換術例 **【研究期間】** 新潟大学医学部倫理審査委員会承認後から2026年3月31日まで **【過去の研究課題名】**なし	
③概要	
人工股関節全置換術（THA）において脱臼予防のために正確なインプラント設置が必要です。そのため、当院でも術中に X 線透視を使用し、カップ設置角度（前方開角および外方開角）を確認しています。X 線骨盤前後像を用いた二次元的カップ外方開角の評価に関しては信頼できるものと考えられていますが、前方開角の評価に関しては（我々が考案したものを含め）評価法やその是非に関しては意見が分かれています。 本研究の目的は様々な二次元的カップ前方開角を三次元的手法を用いて、その精度を検証することです。	
④申請番号	2023-0137
⑤研究の目的・意義	人工股関節全置換術（THA）において脱臼予防のために正確なインプラント設置が必要です。そのため、当院でも術中に X 線透視を使用し、カップ設置角度（前方開角および外方開角）を確認しています。X 線骨盤前後像を用いた二次元的カップ外方開角の評価に関しては信頼できるものと考えられていますが、前方開角の評価に関しては（我々が考案したものを含め）評価法やその是非に関しては意見が分かれています。 本研究の目的は様々な二次元的カップ前方開角を三次元的手法を用いて、その精度を検証することです。
⑥研究期間	新潟大学倫理審査委員会承認後から2026年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	介入を伴わない、後方視的研究であり、新たに生じる不利益、危険性はないと考えられます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報	2015 年 1 月から 2020 年 12 月の間に行われた、当院で施行され

の項目	た THA 例
⑨利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科　健康寿命延伸・運動器疾患医学講座および整形外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科　健康寿命延伸・運動器疾患医学講座　今井　教雄
⑪お問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科　健康寿命延伸・運動器疾患医学講座　今井　教雄　025-227-2272 imainorio2001@med.niigata-u.ac.jp